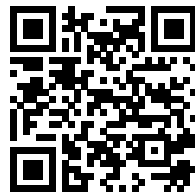


箱の内容

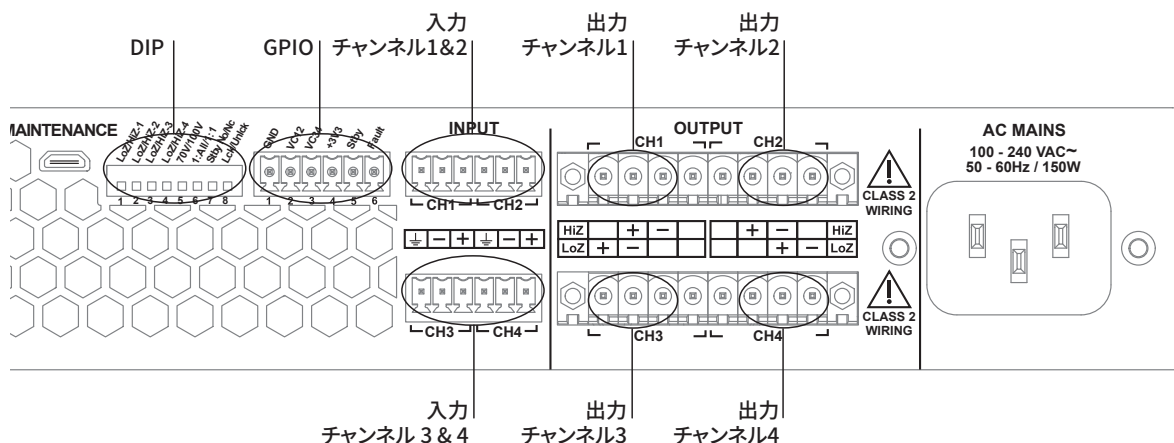
- ・アンプユニット
- ・主電源ケーブル
- ・入力コネクタ×1または2
- ・GPIOソケットコネクタ
- ・出力コネクタ×1または2
- ・粘着ゴム足×4
- ・ドキュメントパック
- ・ラックイヤー (PowerZone 1004)

サポート

設置、取り付け **アクセサリ**、およびアンプの操作に関する情報を含む完全なユーザーマニュアルは、オンラインで入手できます。www.blaze-audio.comにアクセスするか、QRコードをスキャンしてください。



接続



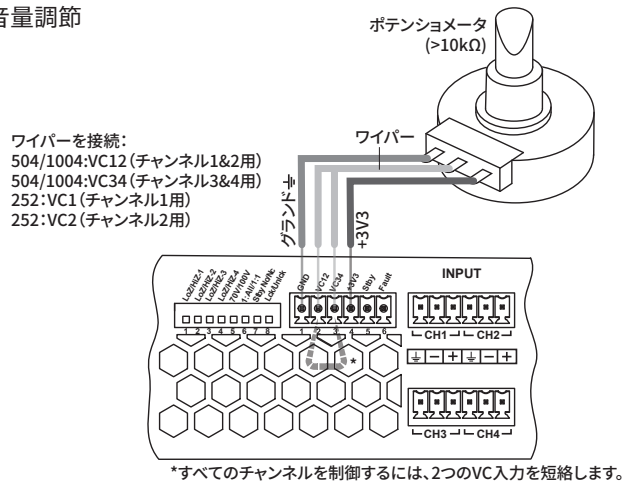
DIPスイッチ機能

スイッチ	オフ↓	オン↑
1	Low-Zモードのチャンネル1	Hi-Zモードのチャンネル1
2	Low-Zモードのチャンネル2	Hi-Zモードのチャンネル2
3	Low-Zモードのチャンネル3*	Hi-Zモードのチャンネル3*
4	Low-Zモードのチャンネル4*	Hi-Zモードのチャンネル4*
5	70V Hi-Zモード (Hi-Zモードのチャンネル用)	100V Hi-Zモード (Hi-Zモードのチャンネル用)
6	入力ギヤング1:すべて	入力ギヤング1:1
7	GPIOスタンバイ極性NO (常開)	GPIOスタンバイ極性NC (常閉)
8	フロントパネルコントロール がロックされています。	フロントパネルコントロールの ロックが解除されています。

* 2チャンネルアンプには適用されません。

GPIO機能

音量調節

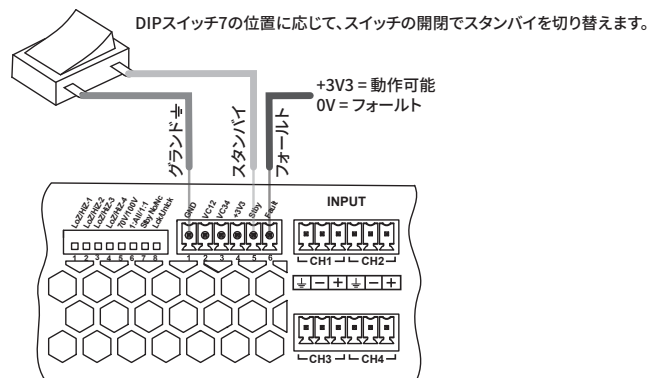


*すべてのチャンネルを制御するには、2つのVC入力を経短します。

設置に関する注意事項

- ・ラックまたはその他の密閉された設置によって、機器の安全で信頼性の高い動作に必要な空気の流れが制限されないようにしてください。機器の最大動作温度である40°Cを超えないようにすることが重要です。
- ・入力信号が存在するか、スタンバイスイッチが切り替えられない限り、アンプはスタンバイモードからオンになりません。

スタンバイ制御と異常表示



この記号は、製品の筐体内に、人に感電の危険をもたらす可能性のある、絶縁されていない「危険な電圧」が存在することをユーザー様に警告することを目的としています。

**警告!**

この機器を雨や湿気にさらさないでください。



この記号は、機器に付属の文書に、重要な操作およびメンテナンス(修理)の指示があることをユーザー様に警告することを目的としています。

AVIS

RISQUE DE CHOC
ELECTRIQUE.
NE PAS OUVRIR

注意

感電の危険
開かないでください

本機器はアースする必要があります。

重要な安全上の注意事項

1. これらの指示をお読みください。
2. これらの指示を守ってください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この機器を水の近くで使用しないでください。
6. 乾いた布でのみ拭いてください。
7. 換気口を塞がないでください。メーカーの指示に従って取り付けてください。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、またはその他の熱を発生する装置(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しないでください。
9. 感電のリスクを軽減するために、電源コードは、保護接地接続のある主電源コンセントに接続する必要があります。
10. 極性または接地タイプのプラグの安全目的を無効にしないでください。極性プラグには2つのブレードがあり、一方のブレードの幅が他方よりも広がっています。接地タイプのプラグには、2つのブレードと3つ目の接地ピンがあります。幅広のブレードまたは3つ目の接地ピンは、安全のために用意されています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、古いコンセントの交換について電気技師にご相談ください。
11. 電源コードが、特にプラグ、コンセント、および機器から出ている部分で踏まれたり、挟まれたりしないように保護してください。
12. コードを引っ張って本体のプラグを抜かず、プラグを持って抜いてください。
13. 雷雨の間、または長期間使用しない場合は、この機器のプラグを抜いてください。
14. 修理はすべて、資格のある修理担当者に依頼してください。電源コードやプラグが損傷した場合、機器に液体がこぼれた場合や物が落ちた場合、機器が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、落とした場合など、機器が何らかの形で損傷した場合は、修理が必要です。
15. アプライアンスカプラー(電気器具結合器)またはAC主電源プラグは、AC主電源切断装置であり、設置後もすぐに利用できる状態にしておく必要があります。

FCCコンプライアンス

本機器は、FCC規則のパート15に準拠しています。操作は、次の2つの条件に従います。

1. 本機器は、有害な干渉を引き起こすことはありません。
2. 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。

注意: 本機器は、FCC規則のパート15に従ってテストされ、クラスBデジタル機器の制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅への設置における有害な干渉に対して、合理的な保護を提供するように設計されています。本機器は、無線周波エネルギーを発生させ、放射することがあります。本説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

ただし、特定の設置で干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合

(本機器の電源を入れたり切ったりすることで判断できます)、ユーザー様は以下の手段の1つまたは複数によって、

干渉を修正するよう試みることを推奨します。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変えます。
- 本機器と受信機間の距離を広げてください。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに本機器を接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。